

SPECIAL COLUMN
[木の家特集]

木で建てたい! 木造住宅のススメ

建てるなら知っておこう「木」の魅力



▲出荷を待つスギの平角材

住宅用建材について

「木の家を建てる」と決めたら最初知っておきたい基礎知識について東京木材相互市場の鈴木泰典さんに聞きました。癒やし効果や木目の変化など特長を知り、木の魅力を生かした家を建てよう!

よく耳にする「無垢(むく)材」は、天然の丸太を製材したもの。切り出し方により年輪が平行的な木目として現れる。柱目と円状に現れる板目などさまざまな表情を見せます。「軽くて強い」「燃え進みにくい」「湿度を保つ」「ぬくもりや香りが心地良く癒やし効果がある」「木目の変化や経年美」などが特長です。

の木があり、好みの色の木を見つければ住まいのアクセントにもなります。ほかに複数の木材を接着加工した「集成材」、薄い板を何層にも重ね合わせた「合板」があります。

寿命はどれくらい?

木材の水分含有率は15%が目安で、しっかりと乾燥させれば長持ちするといわれています。ケヤキ材は20〜30年、ヒノキ・スギ材は10年程度自然乾燥させるのが一般的で、乾燥機を使った建材もあります。無垢材は節があつたり、湿気・乾燥などにより「反り」「割れ」が

出してしまうものですが、それは木が「加工後も生きていく」ため。そうした変化も魅力の一つです。

適材適所で力を発揮

主に、湿気や水に強いヒノキやヒバは土台や通し柱、美しい木目や耐久性があるケヤキは大黒柱や和家具、きめが細かいウオールナットはドアや造作、フローリング、松脂を含み水分に強いアカマ

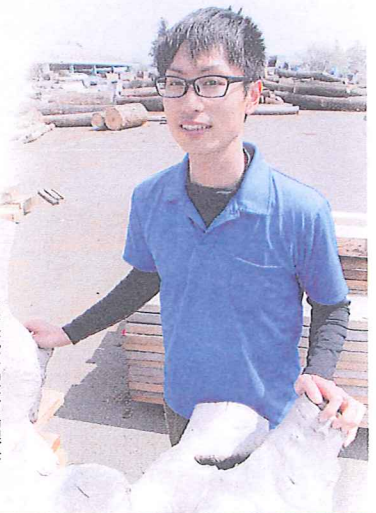


◀主にテーブルの天板や家具などに使用される板材でブラックウォールナット、ケヤキ、トチ、サクラ(左から)

[取材協力]

(株)東京木材相互市場
つくば市東光台5-3
TEL:029-847-8823

相互筑波銘木市場課長 鈴木泰典さん



「原価」で建てる家づくり



光と風と薪ストーブのある家

分譲発注勉強会
7月21日(土)開催
「光と風と薪ストーブ」のある家見学できます
詳細はHP

施主(依頼主)のメリットを最大化させる、原価で建てる「オープンシステム」の家づくりを展開。施主が各専門工業者と直接契約(分譲発注)することで工務店などの中間経費を節約。浮いた分の資金を使って家族のこだわりや、希望の住まいを実現できる。施主が費用を把握できるのも大きなメリット。設計や監理、専門工業者への発注など、全ての書類を設計事務所が作成するので安心。

D-1 (14面) シンク設計事務所

■取手市戸頭9-18-9 ■9:00~18:00 ■日曜・祝日定休
☎0297-78-9033 ■http://www.think-think.jp/